

作成日 平成24年1月30日

市立三次中央病院 第5回 CS 向上推進活動

サークル活動完了報告書

サークル名	医療文書作成委員会		発表者	片岡 光子
			リーダー	片岡 光子
部署	医事課		サブリーダー	
活動期間	開始：平成23年7月日		メンバー	原 陽子 平井 沙織 佐藤 翠 小滝 茉衣子、 和田 昌子 川岡あつみ
	終了：平成24年1月日			
会合状況	会合回数 _____ 回		メンバー	ニチイクラークの皆さん
	1回あたりの会合時間 _____ 分			
所属長/推進メンバー	中原 高範	所見欄		
レビュー担当者				

テーマ

「絶対わかる！医療文書作成マニュアル」

テーマ選定理由

医療文書は、医療・福祉・保健サービスを受ける上で必ず必要となる文書である。たった1枚の文書でも患者様にとっては非常に大切なものである。

早く不備のない正確な内容に仕上げるため、医療文書の情報が一体的にわかる作成マニュアルが必要と考え取り組んだ。

現状把握

医事課では多くの種類の医療文書を扱っているが、目的・提出先・料金等について担当者不在のとき、即答できないことがあった。

また、医師事務補助体制加算を75対1から50対1とするため、2名採用を行ったが、新人研修のためにも、院内のマニュアル整備が急務であった。

目標設定

医療文集作成のほか、料金・制度等情報を網羅したマニュアル作成。

要因解析

実際の当院で医療文書に携わる職員に対し、作成する上での問題点等についてアンケートを実施した。

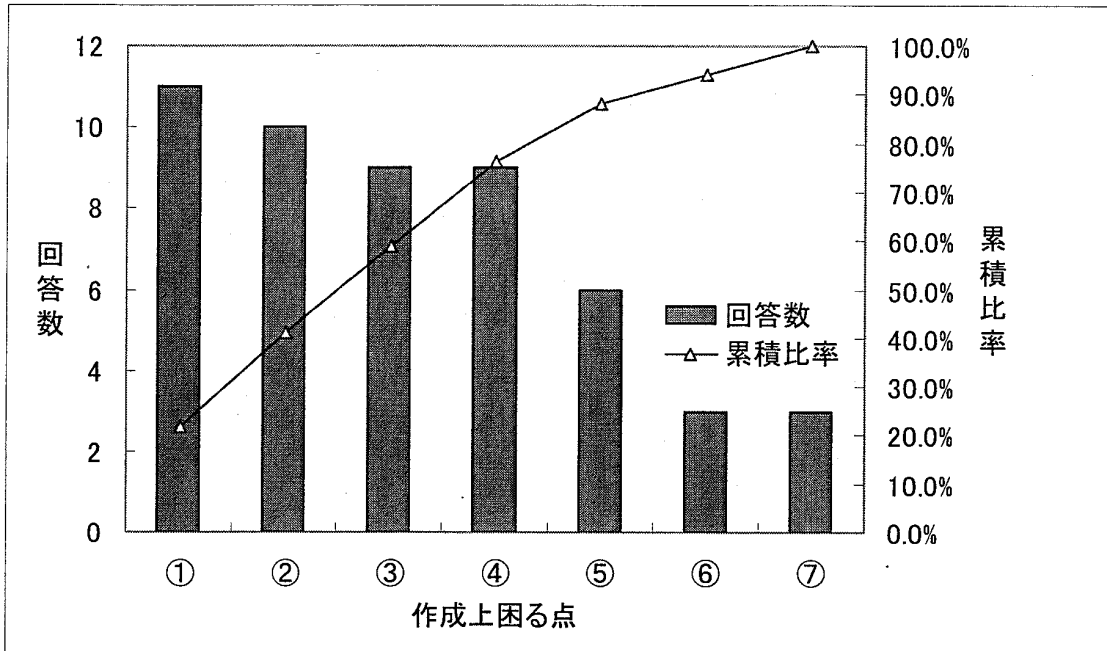
設問1 医療文書を作成する上で困る点は？（複数回答可）

- ① 制度がわかりにくい
- ② 問い合わせ先がわからない
- ③ 当院で作成可能なものかどうかわからない
- ④ 料金がわからない
- ⑤ どういう目的に使用するかわからない
- ⑥ 誰に記入してもらえばよいかわからない
- ⑦ 期限の有無がわからない

設問2 どういう内容の記載があればいいと思いますか（自由回答）

- ・文書の一覧にコストを記入したものが欲しい。
- ・申請書を提出する場所の一覧表がほしい。
- ・作成文書ごとのフロー図と料金。
- ・生命保険用診断書を依頼された時に、親等順位で判断に苦慮したので、その一覧表。

設問1の結果をグラフにしてみると、①から④までで80%を占める結果となったことから、この4点に重点をおき、かつ設問2で記入のあった内容も含んだマニュアルが必要とされていることがわかった。



対策立案

上記の要件をみたまニュアルをつくるしかない！ということから、次のようなマニュアルを作成した。

～ 目 次 ～

I 無料のもの

1. 特定疾患申請書
2. 小児慢性特定疾患
3. 生活保護（医療）要否意見書
4. おむつ使用証明書
5. ストマ用装具使用証明書
6. 弾性着衣装着指示書

II 有料のもの

1. 生命保険関連書類（入院証明書，診断書 等）
2. 介護保険主治医意見書
3. 障害年金診断書
4. 受診状況等証明書
5. 自動車損害賠償責任保険診断書（自賠責）
6. 自動車損害賠償責任保険後遺障害診断書
7. 原爆被爆者健康管理手当用診断書
8. じん肺健康診断書
9. 障害者自立支援医師意見書

III 初回無料，更新時有料のもの

1. 自立支援（育成医療）意見書

IV 保険請求のもの

1. 傷病手当請求書
2. 訪問看護指示書

◆問い合わせ先一覧

◆使用料及び手数料の額

◆制度別フロー図

◆特定疾患治療研究事業一覧(医療費が公費負担になる疾患) ◆身体障害者福祉法指定医師一覧

◆障害者自立支援法指定医師一覧

◆原爆被爆者健康管理手当支給対象疾病一覧

◆小児慢性特定疾患重症患者認定基準

◆親等一覧表

◆高額療養費制度

◆医療費控除について

◆参考文献

「医療文書作成マニュアルづくりのヒント」 医事業務 2011 : No.377

「2011 年版 公費負担医療の実際知識」 医学通信社

「2011 年版 医事関連法の完全知識」 医学通信社

◆参考 WEB サイト

- ・ 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
- ・ 日本年金機構 <http://www.nenkin.go.jp/>
- ・ 国税庁 <http://www.nta.go.jp/>
- ・ 全国健康保険協会 <http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>
- ・ 広島県 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ・ 三次市 <http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

効果確認

まだ配布していないため効果の確認は今後行います。

標準化

新年度になると新たに始まる、外来の高額療養費制度等、今後追加・変更すべきものも多くあるので、加除式として各部署へ配置していきたい。

まとめと今後の課題

- ・ 変わり続ける制度に素早く対応できるよう、情報収集に努めなければならない。
- ・ 説明をされる側にたって、わかりやすいものに作りかえていかなければならない。